

# ふくしま 12 市町村移住支援センター

東京電力福島第一原子力発電所の事故により、避難指示の対象となった12市町村の移住・定住支援を目的に様々な活動を行っています。

ポータルサイト「未来ワークふくしま」では、地域の状況や求人、住まいなど移住に関する様々な情報を発信しています。さらに、現地での体験・交流を目的とした移住モニターツアー、首都圏を中心に実際に移住した方や地域で活躍されている方を招いたセミナー、イベント等を開催しています。

## お問い合わせ・移住に関する相談はこちら

ふくしま12市町村移住支援センター

移住相談ダイヤル ☎0800-800-3305

(受付時間：8：30～17：00 土日祝日・年末年始除く)

# 未来  
# ワーク  
# ふくしま



「かわまたアンズリウム」

### 川俣町

## 田舎ながらも 利便性を併せ持つ町

川俣町は、JR福島駅から車で約30分、東京から2時間圏内にある豊かな里山と清流に囲まれながらも街の利便さも併せもっている町です。賃貸住宅の入居者、二地域居住者などへの支援金のほか、空き家の改修・建替え等にも支援金があります。お気軽にご相談ください。

●本誌持参で政策推進課or「移住・定住相談支援センター」でご相談の方に、道の駅かわまたで使える川俣シャモモンチカツの100円割引券をプレゼント!  
(先着300名・2024年3月31日まで有効)

政策推進課  
中井 翔太さん

二ツ沼総合公園

### 広野町

## 子育て環境が魅力 未来実るひろの

海沿いに立地する広野町は、寒暖差が少なく温暖な気候です。冬も雪が少ないため、年間を通して過ごしやすいことも特徴的です。町では教育に力を入れており、幼児教育から高等教育までを担う学校が建つ「教育の丘」があります。海も山も身近にある豊かな自然環境の中で、幅広い年代の子どもたちが影響を与え合いながら伸び伸びと成長できる魅力的な町です。ぜひ、一度お越しください。

●本誌持参で「りんくひろの」にご相談の方には、オリジナルマスキングテープをプレゼント!

復興企画課 相談窓口  
(りんくひろの)  
大森 博隆さん

### 川内村

## 自然が豊かな村で スローライフを

川内村産白ワイン

川内村は福島県浜通り地方に位置し、美味しいお米やそば、ぶどうやワインなどの特産品が数多くあります。村では、新たに住居を取得する方へ条件がありますが、村独自の支援制度として最大200万円を補助しています。また、子育て世帯への各種補助(保育料無料、チャイルドシート等購入補助金)も行っております。自然豊かな川内村でのんびりスローライフを送ってみませんか?

●本誌持参でご相談の方には、川内村ノベルティグッズをプレゼント!

総務課  
服部 芳治さん

### 大熊町

## 引っ越し補助 & 住宅支援が充実

大熊町の酒「帰忘郷」

大熊町では、引っ越し費用(最大20万円、移住後1年以上居住)や、民間賃貸住宅の家賃(最大4万円/月×36か月、5年以上居住)を支援しています。さらに定住するための新築住宅(最大500万円)、中古購入(200万円、修繕と合わせて最大450万円)の補助も行っています。

子育て世帯向けの支援(医療費無償化等)や、ゼロカーボン推進補助金もありますので、大熊町で新しい生活を始めてみませんか?

●本誌持参でご相談の方には、オリジナルクリアファイルをプレゼント!

生活支援課  
品田 風香さん

クリムソンクローバー

### 葛尾村

## 子育て支援策が 充実しています!

葛尾村は、山々に囲まれ、緑が多く空気の澄んだとても小さな村です。県外から移住し、条件を満たした空き家を改修する方に最大250万円支援するほか、芸術家などの移住者に対して、独自の支援金も準備しています。

「葛尾村未来こども助成金」など子育て支援策も充実していますので、葛尾村移住・定住支援センター(葛尾村復興交流館あぜりあ内)にご相談ください。

●本誌持参で復興推進室or「葛尾村移住・定住支援センター」にご相談の方には、ノベルティをプレゼント!

復興推進室  
松本 昌子さん

飯館村の飯櫃地区

### 飯館村

## 自然豊かな村で スタートしませんか

飯館村は、「明日が待ち遠しくなるような、わくわくする楽しいふるさと」を目指し、新たな歩みを進めています。

移住をする際の住宅取得に対する補助のほか、村で生業を始める方を応援する各種補助制度をご用意しております。意欲一つあれば、あらゆる可能性を見出させる自然が豊かな村です。ぜひ、「ふるさとの担い手」の輪と和が広がっていく、そんな村ぐらしを体験してみませんか。各種支援制度など、詳しくはお問い合わせください。

村づくり推進課  
合田 安男さん

# 復興が進む12市町村の魅力を紹介！

東日本大震災から12年が経ち、めざましい復興がすすむ福島被災12市町村。

それぞれの市町村では、移住者に向けて魅力的な支援制度を用意しています。新しい町で、新しい生き方を探してみませんか。各自治体の方に町の魅力を紹介していただきました。

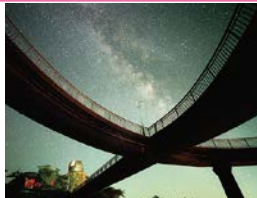
●文末に特典をつけている市町村では、本誌を持参することで特典を受けることができます。

## 田村市

### 創業・起業を 手厚くサポート！

田村市では、移住してチャレンジしたい方を応援しています。農業・林業に就きたい、創業・起業したい方へのサポートはもちろん、プロによる就労支援を無料でを行っています。ショッピングセンター内のチャレンジショップを無料で利用できますよ。また、住宅取得・改修、子育てに関する各種補助制度を用意しているほか、現地体験ツアー・イベントも通年実施しています！

●本誌持参で企画調整課or「たむら移住相談室」にご相談の方には、オリジナルノベルティをプレゼント！



田村市「星の村天文台」



企画調整課  
石井 聡子さん

## 南相馬市

### 移住に関する活動を トータルで支援

南相馬市では「子育て支援」の充実に取り組んでいます。0歳児からの保育料の無料化や学校給食費の無償化、18歳以下の医療費無料化など切れ目ないサポートを行っています。

その他に「住む支援」として住宅取得への奨励金や賃貸住宅の家賃補助、「働く支援」として就職活動時の交通費等の補助、「来る支援」として市内で移住に関する活動を行った際のレンタカー代等の補助など、支援制度が盛りだくさんです。お気軽にお問い合わせください。

●本誌持参でご相談の方には、ポストカードをプレゼント！



小高区子どもの遊び場「NIRKOPARK」



移住定住課  
鈴木 のぞみさん

## 檜葉町

### アクティビティが 充実した町

檜葉町は、海・山・川が絶妙な距離感にあり、自然の豊かな恵みを感じながら、たくさんの楽しみ方がある町です。近年のキャンプブームを追い風に、太平洋が一望できる天神岬スポーツ公園キャンプ場や木戸ダム湖でのSUP(サップ)、カヤックなど様々なアウトドアアクティビティが充実しています。

また、サッカーの聖地とも言われている「ヴィレッジ」や、温泉施設しおかぜ荘もありますよ。檜葉の魅力を感じていただくためにも、まずはぜひ、一度お越しください。



政策企画課  
渡邊 直央さん

夜の森の桜



夜の森の桜で有名な富岡町では、子育て支援に力を入れています。例えば、町立の小・中学校生の就学費は町が負担しているほか、町内に家を建て、定住を希望する方には学用品・給食費・制服など最大で300万円の補助をしています。アパートなど賃貸住宅への支援も用意していますよ。また、町内にはお試し住宅があり、居住体験もできます。仕事、住まいに関して気になることは、ぜひお気軽にお問い合わせください。

●本誌持参で企画課or「とみおカプラス」でご相談の方には、オリジナルグッズをプレゼント！

## 富岡町

### 子育て・住宅の 支援がたくさん！



企画課  
富山 侑也さん

## 双葉町

### 駅西側に住居を整備！ 各種助成金も

双葉町では、JR双葉駅西側地区に「住む拠点」として「えぎにし住宅（公営住宅）」全86戸の整備を進めており、令和4年10月1日から一部住戸において入居が始まりました。この住宅は「なりわい集落」をコンセプトとしており、帰還される町民のほか、新たに移住される方も入居可能な住宅となります。この機会に自然に囲まれた双葉町に移住を検討されてみてはいかがでしょうか？移住者向けの各種助成金等もございますので、お気軽に窓口へご相談ください。



双葉町「えぎにし住宅」



復興推進課  
武藤 久実さん

## 浪江町

### 就業・起業を後押し！ 充実した支援

B-1グランプリのゴールドグランプリを獲得した「なみえ焼そば」でも知られる浪江町。町の復興が進展し、居住者の増加傾向も続いています。町内には、先端産業等の進出が進むとともに、起業する方に専門家による伴走型起業支援も行っています。町では、月2万円で最長30日間町内に滞在できるお試し宿泊制度や、短期宿泊の支援制度、レンタカー利用補助も用意しています。移住後の家賃補助等の各種支援制度もございますので、お気軽にご相談ください。



なみえ焼そば



企画財政課  
鈴木 朋代さん